日本基督教団 八ヶ岳伝道所　復活祭 主日礼拝　NO.1166　　2021 年 4 月 4 日

牧師　山本護　　奏楽　山本恵美　　第一部礼拝　司式　竹内雅子　　9:30~10:30
※讃美は二番まで歌います　　第二部礼拝　司式　福田奈里子　　11:00~12:00

前　奏	黙想	讃美歌	198 父、御子、みたまの
讃美歌	31 わがみかみよ	聖餐式	
祈　禱		讃美歌	205 わが主よ、今ここにて
聖　書	イザヤ書 29:5~6	献　金	
	マタイによる福音書 28:1~10	讃　詠	547 いまささぐるそなえものを
讃美歌	148 すくいのぬしは	黙　禱	
説　教	『 復活のキリストに結びつく 』	主の祈り	564
祈　禱		頌　栄	544 あまつみたみも
讃美歌	155 空はうららに	祝　禱	
洗礼式		後　奏	※信仰告白は洗礼式の中で唱えます。

イエスの墓を見に行った二人のマリアは(ﾏﾀｲ 28:1)、天使からイエスの復活を告げられる(28:6)。そして弟子たちに一連の出来事を伝えるために、懸命に走った(28:8)。恐れながらも大喜びして走る女たち(28:8)。衣の裾をたくし上げて汗かきかき走っていると、復活したイエスが現れ涼しい顔でいつものように挨拶した(28:9)。どことなくユーモラスな感じがする。喜びが勝っていたとはいえ、実際イエスに出会ってみると恐ろしさの方が盛り返す(28:9)。するとイエスは、彼女らに伝言を託す。

「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる(28:10)」。十字架に挫折して逃げ出した弟子たちを、イエスはなおも「兄弟」と呼び、出発点に戻っての転換を約束した。女たちも挫折してイエスの「死」を探していたが(28:5)、「恐れることはない(28:5,10)」という言葉を受けて、向かうべき方向が死から新しい命に転換させられた。

昔も今も復活などありえない、が世の常識だが(使徒 17:32)、復活を信じるキリスト者は、それをどのように信じているのか。私たちが甦ったイエスに出会ったならば、女たちのように恐れるか、唖然となるだろう。死者の甦りを目撃したとしても、生き方が転換するとは考えにくい。ということは、順序が逆なのではないか。復活を目撃して弟子たちが不屈の信仰を掴んだのではない。挫折した者たちに次々起こったキリストの「新たな命の現象」を、「十字架からの復活」として捉えた。十字架の後、弟子や女たちに、敵対する者や被造物にさえ、もの凄い何かが起った。それがキリストの復活なのだ。

「万軍の主によってお前は顧みられる。雷鳴、地震、大音響と共に、つむじ風、嵐、焼き尽くす炎の内に(ｲｻﾞﾔ 29:6)」。大きな転換点では、人間の改心ばかりでなく、被造物までもが揺れ動く。復活の朝にも「大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石をわきへ転がし、その上に座ったのである(ﾏﾀｲ 28:2)」。するとどうだろう。「番兵たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった(28:4)」。番兵の武器は無用物となり、武力を用いるような世の統治形態は崩れ去る。

人や被造物に起こる新たな命の噴出、すなわち復活という奇跡は、世のいかなる諸力をもっても押さえられない。「群がる外敵は砂塵のようになり、群がる暴虐の者らは、吹き去られるもみ殻のようになる(ｲｻﾞﾔ 29:5)」。復活の命は、春に自然の命が噴出するがごとくに、死んでいた冬の地を耕し始める。

弟子たちや女たちは十字架で挫折し、イエスの死に捕えられていた。このように、復活に目を閉じていた者にキリストは現れ、彼らを転換させた。死から命に転換した者は、復活のキリストに結びついている。ということは、私たちもキリストの復活に結びついている。私たちは各々の賜物を生かしながら、一つなるキリストの体を形成している(ｴﾌｪｿ 4:16)。教会はキリスト復活の現実的な徴なのだ。

復活は、私たちの俗なる人間性を超えていくのではない。俗なるその根っこに永遠の命を注ぎ込む。

復活のキリストとの結びつき　それをどうやって知り　どのように了解するか　目で確認するのか
耳で声を聴くのか　私たちはその方の　体の一部としてキリストの復活を識る　いわば内臓感覚か

本日第二部礼拝で青柳耕作さんの洗礼式を行います。これまで様々な奉仕をしてくれ、ここで受洗されることは本当に喜びと感謝です。おめでとうございます。次主日礼拝後 1:00～定期総会を開きます。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3
連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324　TEL 0551-25-4008
ﾒｰﾙ komechan.olive @ orange.zero.jp　HP は「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。